

福知山市告示第264号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項後段の規定に基づき、令和3年4月1日から令和3年9月30日までの期間における病院事業の業務状況を次のとおり公表します。

令和3年12月1日

福知山市長 大橋 一夫

福知山市病院事業業務状況報告書

(令和3年4月1日～令和3年9月30日)

1 事業の概況

市立福知山市民病院 本院の当期末の延べ患者数は、入院は 56,430人（一日平均 308.4人）となり前年度同期に比し 1,823人（一日平均 10.0人）の増加、外来は 117,278人（新型コロナウイルスワクチン接種者を除く。）（一日平均 961.3人）となり前年度同期に比し 7,636人（一日平均 62.6人）の増加となりました。

設備関係につきましては、昨年度より着手していた手術支援ロボットの導入のほか、放射線科の血管撮影装置や透析センターの多用途透析監視装置など、医療機器の整備・更新を進めました。

収支につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた昨年同期に比べ患者数が増加し、さらに診療単価が伸びたことにより診療収入が 9.55%の伸びを示し、支出では薬品費などの材料費や経費等が増加したものの、当期は 719,499,277円の純利益を計上することができました。

大江分院の当期末の延べ患者数は、入院は 9,526人（一日平均 52.1人）となり前年度同期に比し 497人（一日平均 2.7人）の減少、外来は 7,303人（新型コロナウイルスワクチン接種者を除く。）（一日平均 59.9人）となり前年度同期に比し 512人（一日平均 4.2人）の減少となりました。

収支につきましては、患者数の減少により診療収入が △5.09%と減少しましたが、給与費や減価償却費が減少した結果、当期は 39,366,503円の純利益の計上となりました。

この結果、病院事業全体では前年度同期比 57.72%増の 758,865,780円の純利益を計上しました。

2 経理の状況

令和3年度 上半期福知山市病院事業収支計算書

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	6,842,294,269	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	326,490,025	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看護学校収益	4,930,386	授業料収益、その他看護学校収益
4 訪問看護収益	14,282,247	訪問看護収益、居宅介護支援収益
5 特 別 利 益	22,898,271	その他特別利益
合 計	7,210,895,198	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	6,267,537,112	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	133,917,855	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看護学校費用	35,597,122	給与費、経費、減価償却費
4 訪問看護費用	14,977,329	給与費、経費
合 計	6,452,029,418	

(内 訳) 本院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	6,553,669,069	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	302,313,637	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看 護 学 校 収 益	4,930,386	授業料収益、その他看護学校収益
4 特 別 利 益	17,424,620	その他特別利益
合 計	6,878,337,712	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	5,992,242,840	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	130,998,473	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看 護 学 校 費 用	35,597,122	給与費、経費、減価償却費
合 計	6,158,838,435	

(内 訳) 大江分院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	288,625,200	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	24,176,388	長期前受金戻入、その他医業外収益
3 訪 問 看 護 収 益	14,282,247	訪問看護収益、居宅介護支援収益
4 特 別 利 益	5,473,651	その他特別利益
合 計	332,557,486	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	275,294,272	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	2,919,382	支払利息、長期前払消費税償却、雑支出
3 訪 問 看 護 費 用	14,977,329	給与費、経費
合 計	293,190,983	

令和3年度 上半期福知山市病院事業貸借対照表

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	15,838,813,262	1 企業債(固定負債)	7,745,721,541
2 投資その他の資産	322,570,360	2 引当金(〃)	634,982,388
3 現金預金	5,261,557,883	3 企業債(流動負債)	416,686,912
4 未収金	2,291,648,383	4 未払金	853,793,592
5 貯蔵品	34,939,639	5 預り金	55,066,162
6 前払金	0	6 その他流動負債	23,968,078
7 前払費用	7,173,840	7 長期前受金	1,302,072,502
8 その他流動資産	328,884,784	8 自己資本金	5,008,343,092
9 貸倒引当金(△)	4,345,729	9 資本剰余金	7,380,195,999
		10 欠損金(△)	98,453,624
		11 当期純利益	758,865,780
合計	24,081,242,422	合計	24,081,242,422

(減価償却累計額 13,052,485,719 円)

(長期前受金収益化累計額 4,025,974,487 円)

(内訳) 本院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	15,081,299,677	1 企業債(固定負債)	7,341,563,845
2 投資その他の資産	298,766,885	2 引当金(〃)	597,809,317
3 現金預金	5,049,054,891	3 企業債(流動負債)	400,248,736
4 未収金	2,173,570,990	4 未払金	838,606,632
5 貯蔵品	34,939,639	5 預り金	54,966,653
6 前払金	0	6 その他流動負債	23,175,648
7 前払費用	7,158,000	7 長期前受金	1,049,904,857
8 その他流動資産	323,110,286	8 自己資本金	5,008,343,092
9 貸倒引当金(△)	4,345,729	9 資本剰余金	7,278,156,635
		10 欠損金(△)	348,720,053
		11 当期純利益	719,499,277
合計	22,963,554,639	合計	22,963,554,639

(減価償却累計額 12,467,676,488 円)

(長期前受金収益化累計額 3,461,637,022 円)

(内訳) 大江分院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	757,513,585	1 企業債(固定負債)	404,157,696
2 投資その他の資産	23,803,475	2 引当金(〃)	37,173,071
3 現金預金	212,502,992	3 企業債(流動負債)	16,438,176
4 未収金	118,077,393	4 未払金	15,186,960
5 前払費用	15,840	5 預り金	99,509
6 その他流動資産	5,774,498	6 その他流動負債	792,430
		7 長期前受金	252,167,645
		8 自己資本金	0
		9 資本剰余金	102,039,364
		10 利益剰余金	250,266,429
		11 当期純利益	39,366,503
合計	1,117,687,783	合計	1,117,687,783

(減価償却累計額 584,809,231 円)

(長期前受金収益化累計額 564,337,465 円)

3 企業債

(本院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平7年度	2,668,187	0	248,450	2,419,737
〃 〃 10 〃	317,780,621	0	18,343,479	299,437,142
機構企業債 〃 14 〃	414,041,126	0	19,452,685	394,588,441
〃 〃 15 〃	274,761,175	0	11,288,473	263,472,702
〃 〃 16 〃	290,944,903	0	10,722,529	280,222,374
〃 〃	197,896,005	0	7,293,290	190,602,715
政府企業債 〃	1,640,581,353	0	48,689,373	1,591,891,980
機構企業債 〃 17 〃	1,202,843,160	0	40,738,948	1,162,104,212
政府企業債 〃	1,956,993,911	0	55,415,496	1,901,578,415
機構企業債 〃 18 〃	228,379,631	0	7,058,530	221,321,101
政府企業債 〃	149,037,818	0	3,942,900	145,094,918
〃 〃 28 〃	77,961,693	0	38,979,872	38,981,821
〃 〃 29 〃	23,002,300	0	5,750,144	17,252,156
〃 〃	98,400,000	0	0	98,400,000
〃 〃 30 〃	162,000,000	0	0	162,000,000
〃 〃	490,899,542	0	81,806,364	409,093,178
〃 令元 〃	386,000,000	0	48,248,311	337,751,689
〃 〃 2 〃	205,900,000	0	0	205,900,000
銀行等企業債 〃	19,700,000	0	0	19,700,000
本院分 小計	8,139,791,425	0	397,978,844	7,741,812,581

(大江分院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平11年度	55,475,148	0	2,828,237	52,646,911
機構企業債 〃 15 〃	2,236,429	0	91,883	2,144,546
〃 〃 16 〃	27,490,401	0	1,013,136	26,477,265
〃 〃 26 〃	18,360,828	0	998,541	17,362,287
〃 〃	167,416,985	0	8,331,157	159,085,828
政府企業債 〃 27 〃	166,000,000	0	3,120,965	162,879,035
大江分院分 小計	436,979,791	0	16,383,919	420,595,872

合計	8,576,771,216	0	414,362,763	8,162,408,453
----	---------------	---	-------------	---------------

4 令和2年度(前年度)決算状況

令和2年度の病院事業の運営につきましては、福知山市民をはじめ近隣市町住民の高度・多様化する医療ニーズに応えるため、引き続き医療スタッフの確保や医療機器の更新・整備を進め医療提供体制の充実を図りました。また、新型コロナウイルス感染症対応では、発熱外来を設置し感染疑いのある患者を速やかに検査できる体制を整備し、入院が必要な陽性患者をスムーズに受け入れるなど、京都府の重点医療機関、感染症指定医療機関としての使命を果たすための医療サービスの提供に努めました。

施設・設備につきましては、外来患者数の増加による駐車場不足を解消するため第2外来駐車場を整備しました。また、放射線科のRI(核医学)検査装置、X線透視診断装置や眼科の超広角眼底撮影システムをはじめとする医療機器を整備・更新するとともに、令和3年度早期導入を目指し手術ロボット整備事業に着手しました。さらに、国の支援制度等を活用し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたほか、PCR検査機器や治療機器等を購入しました。

患者数につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に係る上半期の患者数減少が大きく影響し、本院、分院併せて374,548人と、前年度に比し13,798人の減少となりました。

収支につきましては、本院では入院、外来ともに患者数が減少しましたが、がん治療や血管内治療などの高度医療や手術件数の増加等により診療単価が伸び、診療収入は前年度比3.5%増加しました。また、新型コロナウイルス感染症患者受入等に対する国・府の支援事業を積極的に活用した結果、収入は大きく増加しました。支出につきましては職員数の増加による給与費や高額薬品等の材料費の増加等がありましたが本年度は311,828千円の純利益を計上することができました。

大江分院につきましては人口動態等による受診患者数の減少で診療収入が伸び悩みましたが、効率的な人員配置による給与費の減少、減価償却費の減少に加え、新型コロナウイルス感染症関連の支援金を受けたことなどにより本年度は51,858千円の純利益を計上しました。

市民病院について

(1) 収支の状況

収益的収入 14,359,076,892円に対し、収益的支出 14,047,248,505円で収支差引 311,828,387円の当年度純利益となりました。

(2) 患者の状況

年度末の受診患者延数は入院 112,576人(1日平均 308.4人)、外来 225,670人(1日平均 928.7人)となりました。病床利用率は 87.13%(一般病床 88.87%、結核病床 28.04%、感染症病床25.68%)となり、前年度に比し、一般病床は Δ 2.92%と減少し、結核病床で 18.75%、感染症病床は新型コロナウイルス感染症により 21.58%の増加となりましたが、全体では Δ 1.88%と減少しました。

大江分院について

(1) 収支の状況

収益的収入 804,344,115円に対し、収益的支出 752,486,290円で収支差引 51,857,825円の当年度純利益となりました。

(2) 患者の状況

年度末の受診患者延数は入院 20,899人(1日平均 57.3人)、外来 15,403人(1日平均 63.4人)、病床利用率は 84.20%(一般病床 81.99%、療養病床 87.37%)となり、前年度に比し、一般病床で Δ 3.48%、療養病床で Δ 5.11%、全体では Δ 4.10%と減少しました。